

マーケットの動き（2025年10月6日～10月10日）

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。

週前半は、米大手半導体メーカーと米大手AI（人工知能）関連企業の提携報道や、米大手AI開発企業の大規模資金調達の報道などを受け、ハイテク関連銘柄を中心に株式が買われ、8日にはS&P500種株価指数は最高値を更新しました。週末には、米大統領が対中関税を100%上乘せすると表明したことを受け、米中貿易摩擦の再燃懸念などから株式は売られました。

欧州株式市場は、前週末比で下落しました。

投資環境見通し（2025年10月）

外国株式相場は、米国、欧州ともにレンジ内での動き

企業業績については、足元は米国関税政策や長期金利高止まりの影響は限定的で、底堅く推移するとみられます。

米国株式相場はこれまでの上昇相場から過熱感が意識されながらも、FRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げ姿勢は支援材料とみられることから上値・下値とも限定的で、レンジ内での動きになるとみています。欧州株式相場は、財政拡大政策が支援材料とみられる一方、米国関税政策の輸出に対する影響が懸念される中、域内の政局動向も懸念されることもあり、米国株式相場と同様にレンジ内で推移するとみています。

	10月10日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	6,552.51	▲2.43%	0.31%	24.38%	13.36%
NYダウ	45,479.60	▲2.73%	▲0.02%	14.87%	7.13%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

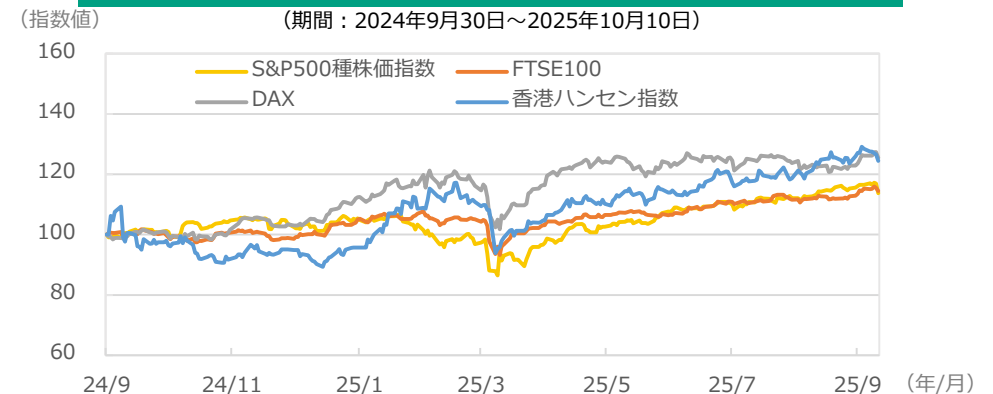
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202510_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2024年9月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成